



みえ県議会だより

発行／三重県議会 編集／三重県議会広聴広報会議 「みえ県議会だより」に関するご意見・ご感想をお寄せください。

〒514-8570 津市広明町13 TEL 059 (224) 2877
FAX 059 (229) 1931 MAIL gikaik@pref.mie.lg.jp
URL <https://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/>
URL <https://www.gijiroku.jp/mie/> (スマホ版)
URL <https://www.facebook.com/miepref.gikai> (Facebook)



審議結果（11月定例会会議）

可決した議員提出議案

- 三重県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例案 ほか1件

可決した議案

予算

- 令和7年度三重県一般会計補正予算（第4号） ほか27件

条例

- 児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例案 ほか13件

その他議案

- 当せん金付証票の発売について ほか15件

同意した人事案件

- 教育委員会委員の選任につき同意を得るについて

認定した一般会計・特別会計決算

- 令和6年度三重県一般会計歳入歳出決算
- 令和6年度三重県県債管理特別会計歳入歳出決算
- 令和6年度地方独立行政法人三重県立総合医療センター資金貸付特別会計歳入歳出決算
- 令和6年度三重県国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
- 令和6年度三重県母子及び父子並びに寡婦福祉資金貸付事業特別会計歳入歳出決算
- 令和6年度三重県立子ども心身発達医療センター事業特別会計歳入歳出決算
- 令和6年度三重県就農施設等資金貸付事業等特別会計歳入歳出決算
- 令和6年度三重県地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算
- 令和6年度三重県林業改善資金貸付事業特別会計歳入歳出決算
- 令和6年度三重県沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計歳入歳出決算
- 令和6年度三重県中小企業者等支援資金貸付事業等特別会計歳入歳出決算
- 令和6年度三重県港湾整備事業特別会計歳入歳出決算

採択した請願

- 私学助成に関することについて
- 豊かな伊勢湾に向けた取り組みに関することについて

不採択とした請願

- 先生増やして、ゆきとどいた教育を求めることについて

可決した意見書案

- カーボンニュートラル実現に向けた自動車産業への支援の拡充等に関する意見書案
- 私学助成の充実を求める意見書案
- 脳脊髄液漏出症患者の救済を求める意見書案

否決した意見書案

- 日本国国章損壊の罪の早期制定を求める意見書案

議員別の賛否等の状況
(PDFファイル)

11月採決分



12月採決分



三重県議会定例会 今後の日程（予定）

令和8年2月から3月までの日程（予定）は次のとおりです。

2月

- 3日 代表者会議
- 10日 議会運営委員会
- 12日 全員協議会(当初予算)
- 17日 本会議(議案上程)
- 18日 議会運営委員会
- 25日 本会議(代表質問、議案質疑)
- 27日 本会議(一般質問)



この日程は、令和8年1月5日現在の予定です。最新の情報は、県議会ホームページの「議会の日程」でご覧いただけます。

TV テレビ中継

インターネット中継

3月

- 3日 本会議(一般質問)
- 4日 本会議(追加議案上程)
- 6日 本会議(一般質問、議案質疑)
- 9日 予算決算常任委員会(予算総括質疑)
- 10日～13日 各行政部門別常任委員会・分科会
- 18日 予算決算常任委員会
- 19日 代表者会議
- 23日 本会議(採決)
- 31日 本会議(議案上程・採決)

代表質問（10月20日）



三重の未来農業ビジョン（仮称）について

ふじ た よし み
藤田 宜三 議員 新政みえ／鈴鹿市選出



問

今までの県の農業政策は国の政策の追従で、独自性に欠けているように思います。令和8年度三重県行政展開方針(案)には、「三重の未来農業ビジョン（仮称）」の策定を開始するとありますが、このビジョンについて、知事のお考えをお聞かせください。

答

農業は、担い手の減少、気候変動や米価格の急激な変動などの課題を抱え、岐路に立っており、県独自の考え方を出す時期だと考えます。令和7年度に進めている「三重県食を担う農業及び農村の活性化に関する条例」の改正と基本計画の見直しに加え、議論を重ね、新しいものを求めていく必要があります。先進事例等を学び、県の今後の農業のビジョンを取りまとめたいと考えています。

その他の質問事項

- 知事の令和8年度三重県行政展開方針（案）への思いについて



中小企業・小規模事業者の支援

の ぐち ただし
野口 正 議員 自由民主党／松阪市選出



問

最低賃金上昇により、県内の中小企業・小規模事業者の経営状況は厳しさが増すと予想されます。物価高騰対策が遅れ、エネルギー価格の高騰を価格に転嫁できていない今こそ、持続化給付金のような支援や、県独自の支援策が必要と考えます。県の現状認識と、今後の支援について伺います。

答

県内産業の柱である中小企業・小規模事業者を取り巻く状況は、物価高や人件費高騰、労働力不足等により非常に厳しい状況です。県ではこれまで、財政的な支援の他、適正取引・価格転嫁に向けた共同宣言の採択や商工団体および金融機関等による伴走支援等に取り組んできました。今後も、中小企業等が持続的に発展できるよう国に対して要望を行う他、県独自の支援策についても、関係団体の意見や国の動向等を注視して検討していきます。

その他の質問事項

- 農林水産業の振興および食産業の安定的支援
- 医療提供体制の確保（病院の経営、医師の確保） ほか



文化と教育について

こ ばやし まさ と
小林 正人 議員 自民党県議団／鈴鹿市選出



問

グローバル化が進む中で、他国との文化交流は、個々の考え方や価値観の違いから危険視されることがあります。一方、民族や国の垣根を超えて、互いの文化を尊重し合えば、世界平和の礎になると考えます。このことについて、知事の考えをお聞かせください。

答

1967年の国際観光元年に、国連は「観光は平和へのパスポート」というスローガンを掲げました。観光を通じてその国の人や文化に触れ、その良さを実感し、尊重することは、平和維持に寄与することがあり得るということです。先日閉幕した大阪・関西万博では、多くの国の老若男女が関西パビリオン内の三重県ブースを訪れ、三重県の良さを感じ、三重県を訪れたいという感想を持たれました。そういった文化交流が平和に繋がると考えます。

その他の質問事項

- 県民の価値観と知事の思う三重の姿について
- 県内企業における日本語教育支援について ほか

一般質問



東紀州地域における医師の偏在対策について

ひがし ゆたか

東 豊 議員 草莽／東紀州選出



問

人口減少が著しい東紀州地域では、患者数の減少や物価高騰等により、医療機関の経営が非常に厳しい状況ですが、医療体制の維持には医師確保が不可欠です。東紀州は医師少数区域であり、県内で最も深刻な医師確保重点地域であることを踏まえ、今後どのように医師確保に取り組むか伺います。

答

医師少数県に位置付けられる本県では、三重県医師確保計画に基づく医師確保対策を進めた結果、令和4年度までの10年間で、人口10万人あたりの医師数は40名以上増加しました。一方、東紀州地域では医師確保が一層必要であるため、医師少数区域に設定し、三重大学や県から尾鷲総合病院と紀南病院へ医師を派遣しています。令和8年度には「医師偏在是正プラン」を策定し、より実効性のある医師偏在対策を総合的に進めます。

その他の質問事項

- 若年層の県内定着について
- 熊野古道の保全と活用について ほか



知事の農村観について

つじ うち ゆう や

辻内 裕也 議員 自民党県議団／桑名市・桑名郡選出



問

農村では特に中山間地域で人口減少と高齢化が進行しています。食料の安定供給を考える上では、日本の農地の4割を占める中山間地域を含めた農業と、それを支える農村の暮らしを守る必要があります。農村の暮らしをどのように守るのか、農村についての知事の思いを伺います。

答

農村には食料の生産基地としての機能の他に、生活共同体の機能がある一方で、農村の形は時代とともに変わるものと考えます。農業が持続的に発展していくには、農地の集約化・大規模化を図り、生産量を増やす必要があります。県では、「三重県農業の将来を考える懇話会」を今年度設置し、全国の先進的な農業について調査を行っています。大規模化が難しい中山間地域の農業についても、しっかりと議論していきます。

その他の質問事項

- 人口減少社会における農地利用について



専門高校の学習環境について

せ こ あきら

世古 明 議員 新政みえ／伊勢市・鳥羽市選出



問

専門高校の実習設備は古く、人材育成や安全上の観点からも問題があると思います。また、実習用の資材が物価高騰の影響を受けることで、実習の回数が減り、生徒の経験機会が減ってしまうことが懸念されます。設備更新を含め、子どもたちの学びの環境づくりに対する考え方を伺います。

答

生徒が安全・安心に実習に取り組める学習環境の整備は、県が果たすべき重要な役割です。専門高校の実習設備の更新は、毎年度各校から状況を聴き取り、順次対応を進めています。また、地域企業と連携し、生徒が企業の最新設備を見学・体験する機会を積極的に設けています。今後も老朽化した設備の計画的な更新に取り組むとともに、生徒が安全で実践的かつ質の高い専門教育を受けられるよう、学習環境を整備していきます。

その他の質問事項

- 中小企業・小規模企業への支援について
- 三重交通G（グループ）スポーツの杜 伊勢 体育館について ほか



全国知事会議青森宣言を踏まえた三重県が目指す多文化共生社会

よし だ あや か

吉田 紋華 議員 日本共産党／津市選出



問

知事は、令和7年9月定例会議会において、令和7年7月の全国知事会議青森宣言に触れ、多文化共生社会の推進について言及しました。「排他主義、排外主義を否定する」という青森宣言を踏まえて、今後どのような共生社会を目指していくのか、伺います。

答

日本では、日本人も外国人も全ての人が法の下に平等です。また、人口減少の中で成長を継続するには外国の方に労働力を頼る必要があります。私たちは決して排外主義、排他主義をとりません。それらの扇動も許されません。令和7年11月には本県の提案を盛り込んだ、全国知事会から国民へのメッセージが発信され、これを受けた国からの発信も期待します。外国人を包摂した共生社会を築くことが何よりも大事だと考えます。

その他の質問事項

- 三重県ジェンダーギャップ解消基本戦略中間案に関して



津市海上アクセス運航事業への支援

ふな はし ひろ ゆき

舟橋 裕幸 議員 新政みえ／津市選出



問

知事は以前に観光・交通施策について、観光誘客と地域交通活性化の両面から取り組むと発言しました。公設民営の津エアポートラインは、空港がない本県の観光政策を支える、公共交通の重要な拠点航路です。船の所有者である津市は、故障した高速船に代わる船の新造に向けた検討会を立ち上げるとしており、県は積極的に関わるべきと考えますが、いかがですか。

答

県は、航路開設当時の合意に基づき、航路開設時のインフラ整備支援や港湾維持管理等、総額約23億円の支援を行ってきました。中部国際空港へのアクセスは複数の交通手段が存在し、津市海上アクセスは中南勢地域の利用が中心であることなどから、県による財政支援は慎重に検討する必要があります。津市の検討状況を注視したうえで、県の今後の対応について、県議会とも相談しながら判断していきたいと考えています。

その他の質問事項

- 平和政策について
- 防災対策について



三重交通G スポーツの杜 伊勢 体育館をふくめた県営五十鈴公園の活性化について

なか がわ まさ み

中川 正美 議員 自由民主党／伊勢市・鳥羽市選出



問

県営五十鈴公園は、緑豊かな伊勢神宮の宮域に隣接し、清流五十鈴川を臨む自然に恵まれ、伊勢神宮の外苑としての様相を呈しています。五十鈴公園が多くの方々の憩いの場となるよう、活性化を図るべきと考えますが、体育館を含めた五十鈴公園の活性化について、県の考えを伺います。

答

県営五十鈴公園は、豊かな自然環境と、体育館や陸上競技場等を備えた「三重交通G スポーツの杜 伊勢」で構成され、さまざまなイベントが行われていますが、公園としての認知度は十分とは言えません。一方、「三重交通G スポーツの杜 伊勢」は多くの利用があり、大規模大会の場として活用されています。五十鈴公園が持つ、憩いやにぎわいを生み出す可能性を生かし、公園全体の活性化に向けた検討を進めていきたいと考えています。

その他の質問事項

- 視覚障がい者の社会参加に向けた支援について
- 畜産業の振興について ほか

一 般 質 問



市民協働に対する三重県の姿勢

よし の まさ ひで

芳野 正英 議員

新政みえ／四日市市選出



問

県は、これまで先進県として市民団体との連携に取り組んできましたが、議会での知事の発言では、市民協働についての言及がありません。三重県誕生150周年の記念事業の実施にあたっては、広く県民の皆さんと連携し、展開することが重要と考えます。知事の所感を伺います。

答

行政は広範な業務を展開しており、県民のための行政を展開するには、公務員だけでなく、企業や県民の皆さんの協力が必要です。県が歩んできた150年の中には、経済活動や市民活動等、さまざまな発展の形があるため、記念事業にはより多くの方の参加を求めることが大事です。また、今後の県の発展を考えると、若者に参加してもらうことも重要であるため、「主役は子どもたち」をキーワードに、若者の記念事業への参画を促していきます。

その他の質問事項

- 海蔵川の桜並木の保全について
- 高等学校の探究学習における企業等との連携について ほか



スマートフォンの社会的影響について

いし だ なり せ

石田 成生 議員

自由民主党／四日市市選出



問

スマートフォンの便利さに隠れた危険に気付かず、無自覚のうちに社会全体が依存症になる心配があります。その危険性を呼びかけるべき県がアプリを開発・利用促進することで、県民はスマートフォンを手放せなくなります。スマートフォンの利用について、中長期的な県の考えを伺います。

答

県では、デジタル化によって生まれる時間や心の余裕が自己実現や幸福実感の向上につながることを目指して、行政サービスの利用環境づくりに取り組んでいます。この考え方を踏まえ、きめ細かな行政サービスの提供手段の一つとして、スマートフォンの活用は不可欠です。より安心して行政サービスを利用いただけるよう、スマートフォンに対する負の側面にも配慮しつつ、使いやすく効果的なサービスを提供できるよう努めます。

その他の質問事項

- 三重県人材確保対策推進方針について
- 学校は何をすべきところかについて ほか



若者への性教育について

かわ ぐち まどか

川口 円 議員

新政みえ／津市選出



問

令和6年度の20歳未満の人工妊娠中絶件数は、前年度より増加しました。性教育は究極の人権教育です。自分の命も相手の命も大切にするには、一人一人が正しい性の知識を持つことから始まり、それにより社会課題の多くを解決できると考えます。学校での性教育の取り組みを伺います。

答

学校では、心と体の距離感の個人差を認識する学習や、SNSで見えない相手とつながる危険性等についての学習を進めており、警察や助産院等から専門家を招くなど、地域の協力を得ている事例もあります。また、スクールカウンセラー等による相談体制の充実や相談機関の紹介も行っています。今後も、各校の取組事例の共有等により、子どもたちが性犯罪や性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないよう「生命の安全教育」の充実を図ります。

その他の質問事項

- 防災対策について
- オーバードーズ（OD）による自殺対策について ほか



ツキノワグマの被害対策

まつ うら けい こ

松浦 慶子 議員

自由民主党／多気郡選出



問

全国的にクマの出没や被害が増加しており、人身被害の危険性が高まっています。県ではツキノワグマ管理計画の策定が進められていますが、県民の被害防止に向けて、今後どのように取り組むのか、県の考えをお聞きます。

答

県では、クマアラートによる注意喚起や、鳥獣保護管理員等による定期的なパトロールを行っています。また、緊急銃猟によるクマの駆除を想定した机上訓練を県内7地域で行った他、出没場所に近づいた際にアラートを受け取ることができるアプリの運用も開始しました。12月に策定予定の「三重県ツキノワグマ管理計画」に基づき、被害防止対策の強化や、出没防止に向けた緩衝帯の整備等に国のパッケージを活用しながら取り組みます。

その他の質問事項

- 森林整備について
- みえ子ども・子育て応援総合補助金について ほか



2035年国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けて

い な が き あき よし

稲垣 昭義 議員

新政みえ／四日市市選出



問

本県では、2035年に国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催が予定されていますが、機運が高まっているとは言えません。中止となった三重とこわか国体・三重とこわか大会以降のスポーツ振興の発展に、機運醸成と具体的な目標設定が必要と考えます。県の考えを伺います。

答

2035年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会は、2030年頃に開催が内定すると想定しています。2035年までに、どのように県民の皆さんに周知し、機運を盛り上げていくかは、時期も含めて検討したいと思います。また、目標設定については、現在、日本スポーツ協会で、総合成績の意義や在り方等についての見直し議論がされていますので、その動向を踏まえつつ、10年後の大会開催を見据え、検討していきたいと考えています。

その他の質問事項

- 不登校対策について
- 萬古陶磁器産業の振興について ほか



堆積土砂撤去の進捗および次期5カ年の目標について

い し が き と も や

石垣 智矢 議員

自由民主党／いなべ市・員弁郡選出



問

線状降水帯や局地的豪雨の発生が増える中、河川の安全確保は県民の命を守る上で喫緊の課題です。特に、氾濫リスクを高める堆積土砂は、計画的かつ継続的な撤去が不可欠です。令和7年度までの堆積土砂撤去の進捗の評価と、令和8年度以降の撤去の方向性について、県の考えを伺います。

答

堆積土砂撤去に集中的に取り組んできた結果、撤去前に比べ、水害発生リスクが軽減しています。令和7年9月の県北部での記録的大雨では、撤去前と比べ、員弁川では約10cm、海蔵川では約20cmの水位低減効果を発揮しました。現在、令和8年度からの5カ年における新たな目標を検討しています。緊急浚渫推進事業の制度拡充により、新たに対象に加わった農業用排水路の管理者とも連携し、引き続き、堆積土砂撤去を推進します。

その他の質問事項


- 観光プロモーション戦略について
- 小中学校の統廃合・移転等による通学路の安全対策について ほか

2025年

あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10

三重県議会では、議会活動について広く関心を持っていただけるよう、昨年末、県民の皆さんや県議会議員からの投票により、2025年の「三重県議会の活動ベスト10」の選定を行いました。今回選定された取り組みをご紹介します。

詳細は県議会
ホームページから
ご覧いただけます。



開かれた議会運営の実現

県民の皆さんの想いを国や知事等へ《請願15件を受け付け》
県民の皆さんの想いが込められた請願の趣旨を受け止め、所管の常任委員会で審査した結果を踏まえ、本会議で採択された請願のうち、県政に関するものは、実現に向けどのように取り組んだのか知事に対し報告を求め、国政に関するものは、衆参両議院議長や内閣総理大臣に対して意見書を提出するとともに、県選出国会議員に協力を要請しています。

次代を担う児童・生徒に主権者教育を実施
《みえ県議会出前講座で8校を訪問》
未来の有権者である子どもたちに、主権者教育の一環として議会の仕組みや役割を伝える授業を行いました。児童からは「私が18歳になったら積極的に選挙に行きたいと思った」などの感想をいただきました。

高校生からの提案に対する、議会での議論をフィードバック
《みえ高校生県議会フィードバック実施》
令和6年8月開催の「みえ高校生県議会」での高校生からの提案等について、議員からは議会での議論の結果について、高校生からはその後の取組状況について、相互にフィードバックを行う仕組みを新たに構築しました。高校生からは、「自分たちの提案が県の事業として形になっていくとは思っていなかった、とても嬉しい」などの感想をいただきました。

県民の皆さんの多様な意見を議論に反映
《みえ現場 de 県議会を2回開催》
2月には「SDGsにも貢献する森林・林業」をテーマに、熊野市で林業や木材利用の関係者の方々と、また、10月には「若者とこれからの地域づくり～防災・減災～」をテーマに、四日市市や石川県で地域防災・被災地支援活動に参加している学生や、地域防災活動を支援する関係団体の方々と意見交換を行いました。いただいたさまざまなご意見を踏まえ、県議会での議論を深め、施策や予算に反映できるよう取り組んでいます。

住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進

物価高騰や米国の関税措置による影響に対応するための予算を決定《補正予算の議決》
エネルギーや食料品等の物価高騰の影響を受けている生活者や医療・介護事業所、農畜水産業、中小企業等の事業者に対する支援を進めるため、補正予算を速やかに議決しました。また、米国の関税措置による影響が懸念される中小企業、農水産業者等を支援するための補正予算を速やかに議決しました。

県民生活の向上等に向け、今後の県政運営に関する意見を知事に申し入れ《令和6年度の政策を評価し、議会の意見を表明》
議会では、関係部局が令和6年度に取り組んだ成果や課題、今後の取組方向をとりまとめた「令和7年版県政レポート（案）」について詳細に調査・議論しました。これらを踏まえ、県内産業の持続的な発展に向けた取り組みや、メリハリのある予算編成を含む財政運営を求めるとともに、各施策に対する意見を述べ、令和8年度の行政展開方針や当初予算編成に反映させるよう、知事に申し入れました。

物価高騰及び賃金上昇に対応するための医療機関等への経営支援及び診療報酬の改定を求める意見書案を全会一致で可決《県議会の意見書を国へ提出》
9月定例会会議において、本意見書案を全会一致で可決し、国関係機関等へ提出しました。この意見書では、医療機関等の経営支援策や診療報酬の十分な引き上げなどを国に求めました。

独自の政策提言と政策立案の強化

「海」の課題解決に向けて分野横断的な議論・独自の政策提言へ
《豊かで美しい三重の海づくり調査特別委員会を設置》
今年度新たに設置した本委員会では、生き物が暮らす観点での海洋環境保全、海を育む人材の確保、海域の利活用等について、漁業関係者、国、学識経験者等も交えて幅広い観点から分野横断的に議論を進めており、豊かで美しい三重の海が次世代へ引き継がれていくことを目指して、現状や課題の整理を行い、政策提言等につなげられるよう委員会活動を行っています。

「安心して働ける職場づくりのヒント」を学び、働き方改革や人材確保の取り組みの議論へ
《議員勉強会を開催》
議会として改めて人材確保に必要な取り組みや働き方改革について学び、議論に生かしていくため、議員勉強会を開催しました。勉強会では、社会保険労務士として実務に携わる講師から、働き方改革関連法等に係る知見と、それらを踏まえた人材確保に必要な視点について解説いただき、今後の働き方改革の在り方について理解を深めました。

児童を盗撮しSNSで動画や画像を共有したとして、名古屋市の小学校教員等が逮捕される事案が発生しました。これを受けて、議会では8月に臨時で教育警察常任委員会を開催し、本事案を踏まえた対応について議論を行った結果、①学校における児童生徒の盗撮被害防止対策の環境整備等に向け、必要な予算をしっかりと確保すること、②本県教職員の不祥事を根絶し、児童生徒、保護者および地域の方々に信頼される教職員であり続けることの2点を、本会議の委員長報告で強く求めました。

自治功労者表彰

三重県議会議員としての長年にわたる県政への功勞に対し、11月25日の本会議において、全国都道府県議会議長会からの自治功労者表彰状が議長から伝達されました。

在職30年以上
舟橋 裕幸 議員

在職20年以上
稲垣 昭義 議員

在職10年以上
野口 正 議員 田中 祐治 議員
廣 耕太郎 議員 中瀬古 初美 議員

「みえ現場 de 県議会」開催のお知らせ

三重県議会では、県民の皆さんの多様な意見を県議会での議論に反映することを目的として、平成22年度から「みえ現場 de 県議会」を開催しています。今回は「離島の振興～『観光』による課題解決を目指して～」をテーマに、鳥羽市において、離島の島民や観光産業に関わる方々からご意見を伺います。

テーマ 離島の振興 ～『観光』による課題解決を目指して～

開催日時 令和8年2月19日（木）14時から16時まで

開催場所 鳥羽フェリーターミナル（鳥羽市鳥羽三丁目1484-111）

傍 聴 事前申し込みは不要で、どなたでも傍聴いただけます。

議員の訃報

ひらはただけし
平畑武議員（鈴鹿市選出、新政みえ、71歳）が令和7年11月14日に逝去されました。ここに哀悼の意を表し、謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。

主な開催実績

10月
27日～28日
予算決算常任委員会
令和8年度当初予算編成に向けての基本的な考え方についての調査
31日 予算決算常任委員会
一般会計・各特別会計決算認定議案にかかる総括質疑

11月
6日 予算決算常任委員会3分科会
所管事項の調査、議案の審査
7日 防災県土整備企業常任委員会・分科会
所管事項の調査、議案の審査 ほか
予算決算常任委員会2分科会
所管事項の調査、議案の審査
18日 予算決算常任委員会
決算認定議案の審査、所管事項の調査
伊勢茶の振興に関する条例策定調査特別委員会
条例中間案の検討について
豊かで美しい三重の海づくり調査特別委員会
参考人からの意見聴取 ほか
25日 本会議
認定議案12件認定、議提議案1件上程、議案40件上程
28日 本会議
議案質疑（1人）

12月
1日 本会議
一般質問（5人）
3日 本会議
一般質問（4人）、議提議案1件上程、議案17件上程

3日 予算決算常任委員会5分科会
議案の審査、所管事項の調査
教育警察常任委員会・分科会
議案の審査、請願第52号に係る協議について
5日 本会議
一般質問（4人）、議案2件可決
予算決算常任委員会
議案の審査
8日 予算決算常任委員会
「令和8年度当初予算要求状況」についての調査
9日 予算決算常任委員会
「令和8年度当初予算要求状況」にかかる総括的質疑
10日～12日、15日
各常任委員会・分科会
議案の審査、所管事項の調査 ほか
17日 豊かで美しい三重の海づくり調査特別委員会
参考人からの意見聴取 ほか
18日 本会議
議案1件上程
予算決算常任委員会2分科会
議案の審査、所管事項の調査
予算決算常任委員会
議案の審査、所管事項の調査
19日 豊かで美しい三重の海づくり調査特別委員会
提言書案および意見書案について
22日 本会議（令和7年定例会閉会）
議提議案2件可決、議案56件可決、請願2件採択・1件不採択、意見書案4件上程・3件可決・1件否決、人事同意議案1件上程・同意

※この他にも、さまざまな会議を開催しました

みえ県議会だよりは、年7回（4、5、7、8、10、12、2月の各月1日）発行します。

次回の発行は、令和8年（2026年）4月1日（水）です。
（新聞折り込みは、令和8年4月5日（日）に行います。）